

リハビリテーション部

1. 領域構成教職員・在職期間

部長(兼)	松峯 昭彦	平成28年12月—
講師	高橋 藍	平成29年4月—令和5年3月(助教), 令和5年10月—現職(講師)
助教	坪川 操	平成31年1月1日—令和5年12月
助教	北出 誠	令和6年1月—現職
特命助教	山口 朋子	令和5年4月—令和5年12月(リハビリテーション部・特命助教), 令和6年1月—(地域高度医療推進講座(寄附講座)・特

2. 研究概要

研究概要

当部では整形外科疾患、中枢神経疾患、呼吸器・循環器疾患、集中治療、小児、がんリハビリテーションなど様々な疾患におけるリハビリテーションの効果検証、基礎的病態メカニズムの解明、手術前後や長期的機能回復の予後予測などの解明をめざし臨床研究を行っている。特に、三次元動作解析装置や多機能筋機能測定装置、神経誘発筋電図、近赤外線トポグラフィーなど最先端の評価機器を用い、根拠に基づいた新しいリハビリテーションの構築を目指して基礎的及び臨床研究を行っている。さらに福井大学工学部と共同研究を行い、VRやAR技術、センシング技術を使用した新しいリハビリテーション、評価方法について協創、開発を行っている。理学療法及び作業療法では、三次元動作解析装置を用い、骨盤骨折再建術後や膝・股関節疾患の歩行特性や上肢の動作解析に関して研究してきた。中枢神経疾患患者では、機能的電気刺激療法や経頭蓋直流電気刺激などのリハビリテーション効果を明らかにし、運動神経誘発電位など基礎的視点からもその基盤となるメカニズムに迫っている。末梢循環や心不全症例では運動・認知機能の低下が与える影響や、OPXの有用性などを報告してきた。さらに、集中治療領域では、栄養と早期離床の観点からリハビリテーションの有効性を検証し、超急性期からの筋萎縮予防に向けた取り組みを行っている。その他にも関節リウマチ患者の上肢動作解析とQOLとの関連、血液腫瘍患者の運動機能維持、緩和ケアでのQOL、脳血管障害のリスク管理など、幅広い分野で研究を進めている。言語聴覚療法では、重度聴覚障害者に対する人工内耳埋め込み術前後での評価・治療・マッピングを行い、コミュニケーション能力の改善について検討を行っている。また、脳卒中患者の摂食嚥下障害に対するリハビリテーションや予後予測に関する臨床研究も行っている。

キーワード

リハビリテーション、運動療法、動作解析、脳機能、呼吸・循環、集中治療、VR/AR、センシング技術

業績年の進捗状況

2023年度は、臨床研究と基礎研究を継続して実施することができた。工学部との共同研究も活発化し、大学病院としての特色を活かした研究も進んでいる。国内外での多くの演題や講演を学会で行い、英語論文、日本語論文や書籍に執筆などから、広く研究成果を公表することができた。

特色等

当部の臨床研究における特色は、整形外科疾患、中枢神経疾患、呼吸器・循環器疾患、集中治療、小児、がんリハビリテーションなど幅広い疾患における急性期のリハビリテーション有効性を三次元動作解析装置や多機能筋機能測定装置、神経誘発筋電図、近赤外線トポグラフィーなどの最先端評価機器を用いて検証することである。また、VRやAR、各種センシング技術を用いて最先端のリハビリテーション方法に関する開発、研究も行っている。

本学の理念との関係

本学の理念に基づき、大学として重点的に取り組む領域のひとつである人の生活の質(QOL)と福祉の向上に関連する様々な領域を結集した医学研究を行うことが当部の臨床研究の目的である。

3. 研究実績

区分		編数		インパクトファクター(うち原著のみ)	
		2017~2022年分	2023年分	2017~2022年分	2023年分
和文原著論文		28	11	—	—
	ファーストオーサー	14	6	30.778(30.778)	12.2(10.5)
英文論文	コレスポンデンス・オーサー	13	5	27.072(27.072)	6.2(4.5)
	その他	43	3	124.586(124.586)	12(12)
	合計	57	9	155.364(155.364)	24.2(22.5)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書(分担執筆)

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文(審査有)

2349156 Nonoyama T, Kubota M, Takayama M, Hosokawa K, Matsumine A: Prediction of physical frailty at hospital discharge in critically ill older patients, Physical & Occupational Therapy In Geriatrics, 20240304, DOI: 10.1080/02703181.2024.2324316, #0.9

2349157 Okura K, Nonoyama T, Shibuya M, Yamamoto S, Kawachi S, Nishie K, Nakayama K: Effectiveness of neuromuscular electrical stimulation in patients with acute exacerbation of chronic obstructive pulmonary disease: A systematic review and meta-analysis, Physiother Res Int, 29(2), 20240227, DOI: 10.1002/pri.2076, #1.7

2349158 Nakajima H, Honjoh K, Watanabe S, Takahashi A, Kubota A, Matsumine A: Management of cervical spinal cord injury without major bone injury in adults, J Clin Med, 12(21), 6795, 20231027, DOI: 10.3390/jcm12216795, #3.9

2349159 Kitade I, Oki H, Sakamoto T, Matsumine A: Gradual loaded exercise of knee extension muscles using an orthosis after wide resection of a femoral sarcoma and quadriceps muscle: a case report, J Med Case Rep, 17(1), 432, 20231017, DOI: 10.1186/s13256-023-04165-9 (症例報告), #1

2349160 Yamaguchi T, Kubota M, Naruse H, Matsumine A, Yamamura O, Tsuchiya H: A 6-month follow-up study on adherence and satisfaction with lower limb prostheses and orthoses delivered to community-dwelling people in Japan, Prog Rehabil Med, 8, 20230034-20230034, 20230927, DOI: 10.2490/prm.20230034, #0

2349161 Tsubokawa M, Fujitani J, Ashida K, Hayase M, Kobayashi N, Horita C, Sakashita M, Tokunaga T, Hamano T, Kikuta KI, Fujieda S.: Potential of Rice-Flour Jelly Made from High-Amylose Rice as a Dysphagia Diet: Evaluation of Pharyngeal Residue by FEES, Dysphagia, 38(4), 1080-1086, 202308, DOI: 10.1007/s00455-022-10529-y, #2.6

2349162 Ishihara M, Nishida Y, Kitano S, Kawai A, Muraoka D, Momose F, Harada N, Miyahara Y, Seo N, Hattori H, Takada K, Emori M, Kakunaga S, Endo M, Matsumoto Y, Sasada T, Sato E, Yamada T, Matsumine A, Nagata Y, Watanabe T, Kageyama S, Shiku H: A phase 1 trial of NY-ESO-1-specific TCR-engineered T-cell therapy combined with a lymph node-targeting nanoparticulate peptide vaccine

2349163 Takahashi A, Nakajima H, Kubota A, Watanabe S, Matsumine A: Adipose-derived mesenchymal stromal cell transplantation for severe spinal cord injury: functional improvement supported by angiogenesis and neuroprotection, Cells, 12(11), 1470-1470, 20230525, DOI: 10.3390/cells12111470, #6

b. 原著論文(審査無)

c. 原著論文(総説)

2349164 Matsumine A: Treatment of bone and soft tissue tumors – Responsibilities and challenges for orthopedic surgeons, J Orthop Sci, 29(3), 703, 202405, DOI: 10.1016/j.jos.2024.02.003, #1.7

d. その他研究等実績（報告書を含む）

2349165 Unoki T, Hayashida K, Kawai Y, Taito S, Ando M, Iida Y, Kasai F, Kawasaki T, Kozu R, Kondo Y, Saitoh M, Sakuramoto H, Sasaki N, Saura R, Nakamura K, Ouchi A, Okamoto S, Okamura M, Kuribara T, Kuriyama A, Matsuishi Y, Yamamoto N, Yoshihiro S, Yasaka T, Abe R, Iitsuka T, Inoue H, Uchiyama Y, Endo S, Okura K, Ota K, Otsuka T, Okada D, Obata K, Katayama Y, Kaneda N, Kitayama M, Kina S, Kusaka R, Kuwahara M, Sogayama M, Takahashi M, Takayama S, Tachibana M, Tateyama I, Tamura T, Tanaka M, Terahara A, Tsubomiya Y, 2023 Annual Meeting of the Histiocyte Society, 40003, Abstract Meeting, 76-76, 202305

e. 国際会議論文

2349166 Morimoto A, Nakazawa A, Ueda T, Ogawa C, Sakata N, Sugimoto K, On J, Yoshida T, Otsuka N, Taneyama Y, Hyakuna N, Ishihara T, Matsumine A, Shioda Y, Nakazawa Y, Yasumi T, Doi T, Sakamoto K, Koga Y, Asano T: Pediatric rosai-dorfman disease in Japan, The 39th Annual Meeting of the Histiocyte Society, 202310

2349167 Kawai A, Ishihara M, Nakamura T, Kitano S, Iwata S, Takada K, Emori M, Kato K, Endo M, Matsumoto Y, Kakunaga S, Sato E, Miyahara Y, Morino K, Tanaka S, Takahashi S, Matsumine A, Kageyama S, Ueda T: Results from phase I/II study of NY-ESO-1-specific TCR gene-transduced T cell therapy (TBI-1301, mipetresgene autoleucel) in patients with advanced synovial sarcoma, 2023 Annual Meeting of the Histiocyte Society, 40003, Abstract Meeting, 76-76, 202305

2349168 Yamamoto Y, Kokubo Y, Nakajima H, Honjoh K, Watanabe S, Matsumine A: Intervertebral disc divided into three regions according to the origin and polarity of macrophages, SpineWeek 2023, 75-75, 202304

2349169 Nakajima H, Yokogawa N, Watanabe S, Honjoh K, Matsumine A, Kato S, JASA Study Group: Prognostic factors for cervical spinal cord injury without major bone injury in elderly patients: Multicenter study in Japan, SpineWeek 2023, 122-122, 202304

2349170 Honjoh K, Nakajima H, Watanabe S, Izubuchi Y, Watanabe Y, Tanaka T, Matsumine A: Prognostic factors in palliative surgery for patients with spinal metastasis, SpineWeek 2023, 157-157, 202304

2349171 Nakajima H, Honjoh K, Watanabe S, Matsumine A: Prognostic factors and optimal surgical management for lumbar spinal canal stenosis in patients with diffuse idiopathic skeletal hyperostosis, SpineWeek 2023, 138-138, 202304

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

2349172 北出 誠, 谷 哲郎, 野口 嵩正, 松峯 昭彦: 大腿骨頭の破壊を認め感染との鑑別に難渋した症例の治療経験, 日骨関節感染症会誌, 37, 63-68, 20240331

2349173 神谷 実木子, 本定 和也, 北出 誠, 中嶋 秀明, 松峯 昭彦: 頸椎術後に発症したリウマチ性多発筋痛症の治療経験, 中部整災誌, 67(1), 47-48, 20240101, DOI: 10.11359/chubu.2024.47

2349174 井上 大聖, 渡邊 拓, 松村 真裕美, 佐々木 宏仁, 坪川 操: めまいと平衡障害は早期に改善したが自覚的視性垂直位の偏位は残存した Isolated vertigoの1例, 理学療法福井, 27, 14-16, 20231208（症例報告）

2349175 渡邊 拓, 井上 大聖, 松村 真裕美, 亀井 絵理奈, 松尾 英明, 久保田 雅史, 磯崎 誠, 坪川 操: 重度体性感覚機能障害を呈した被殻出血症例に対する末梢神経電気刺激前後の即時的変化, 理学療法福井, 27, 17-19, 20231208（症例報告）

2349176 小林 健寿, 田中 太晶, 渡邊 裕美子, 出淵 雄哉, 松峯 昭彦: 軟部腫瘍と鑑別を要したatypical spindle cell/pleomorphic lipomatous tumorの1例, 中部整災誌, 66(6), 885-886, 20231101, DOI: 10.11359/chubu.2023.885, #0

2349177 野口 嵩正, 中嶋 秀明, 渡邊 修司, 本定 和也, 窪田 有咲, 松峯 昭彦: 石灰化を伴った巨大頸椎椎間板ヘルニアの治療経験, 中部整災誌, 66(6), 987-988, 20231101, DOI: 10.11359/chubu.2023.987, #0

2349178 畑 千尋, 加藤 早紀, 片野 莉里花, 宮澤 芽生, 若林 未来也, 加納 恭子, 高野 智早, 野々山 忠芳, 高山 裕喜枝: ストーマ保有患者の退院に向けたストーマケア自立に関する傾向と課題, 日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌, 27(3), 496-502, 20231024, DOI: 10.32201/jpnwocm.27.3_496

2349179 北出 誠, 大木 央, 野口 嵩正, 松峯 昭彦: 開発コンセプトからみたAnatomic Fit stemの臨床成績 ―20年生存率を含めて―, 中部整災誌, 66(5), 815-816, 20230901, #0

b. 原著論文（審査無）

2349180 成瀬 廣亮, 松尾 英明, 長谷川 大輝, 庄司 一希, 高橋 藍, 北出 誠, 松峯 昭彦: 骨折治療中に二次性骨折を受傷した関節リウマチ患者の理学療法を経験して, 第29回福井県リウマチケア研究会論文集, 4-6, 202403（症例報告）

2349181 山岸 永典, 久保田 雅史, 大木 央: Sauvè-Kapandji法術後の長期経過を迫った1症例 ―2軸電気角度計を用いた手関節動作解析による検討―, 第29回福井県リウマチケア研究会論文集, 7, 7-10, 20240305（症例報告）

2349182 野々山 忠芳: 挿管・人工呼吸管理中に歩行練習を行うか? Prosの立場から, 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌, 32(1), 35-39, 20231215, DOI: 10.15032/jsrccr.32.35

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

2349183 卯野木 健, 林田 敬, 河合 佑亮, 對東 俊介, 安藤 守秀, 飯田 有輝, 笠井 史人, 川崎 達也, 神津 玲, 近藤 豊, 齊藤 正和, 櫻本 秀明, 佐々木 信幸, 佐浦 隆一, 中村 謙介, 大内 玲, 岡本 葉子, 岡村 正嗣, 栗原 知己, 栗山 明, 松石 雄二郎, 山本 憲督, 吉廣 尚大, 矢坂 泰介, 安部 諒, 飯塚 崇仁, 井上 拓保, 内山 侑紀, 遠藤 聡, 大倉 和貴, 太田 浩平, 大塚 貴久, 岡田 孝雄, 小幡 啓太, 比山 亜子, 金田 浩樹, 北山 圭希, 高橋 悠介, 菅野 隆一, 森田 功成, 笠羽 清樹, 吉橋 正造, 吉山 千星, 2023 Annual Meeting of the Histiocyte Society, 40003, Abstract Meeting, 76-76, 202305

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

2349184 野々山 忠芳：重症患者に対する神経筋電気刺激のエビデンスと臨床での活用，日本物理療法合同学会2024，奈良市（ハイブリッド、オンデマンド），20240127，抄録集，39，2023

b. シンポジスト・パネリスト等

2349185 山口 朋子：教育機関でのキャリアアップ，第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会，～RJN 企画・日本医師会共催 女性医師支援懇談会～ 専門医取得後の働き方 ―キャリアアップのための戦略―，宮崎市，20231104，プログラム集，S351，202310

2349186 廣野 靖夫，椿 貴佳，田中 太晶，小辻 知広，高野 智早，植瀬 里奈，清水 薫，鋆内 由香里，上谷 幸男，松尾 英明，田中 奈都子，三上 三千代，武藤 悠平，児玉 麻衣子：多診療科・多職種が連携した緩和ケアチームの活動，第48回日本外科系連合学会学術集会，緩和ケアにおける多職種の関わり，横浜市，20230609，日外科系連合誌，48 (3)，352，202305

2349187 野々山 忠芳：人工呼吸器下の早期離床は慎重に進めるべきである（Cons），第45回日本呼吸療法医学会学術集会，名古屋市（ハイブリッド），20230805

2349188 野々山 忠芳：集中治療領域における多職種での早期リハビリテーションと栄養療法の現状と展望，第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会，神戸市（ハイブリッド），20230510

2349189 野々山 忠芳：壇上症例検討 理学療法士の立場から，第51回日本集中治療医学会学術集会，札幌市（オンデマンド），20240316

2349190 野々山 忠芳：緊急ディベート企画 TEAM Trialは臨床応用可能か ―Pros & Cons―TEAM Trialは臨床応用出来ない（Cons），日本呼吸循環理学療法合同学会2023，東京都（ハイブリッド），20230903

c. 一般講演（口演）

2349191 白岩 東，長宗 高樹，久保田 雅史，松尾 英明：仮想現実におけるステレオ手指追跡カメラを用いたノーズフィンガーテストシステムの開発，第50回日本臨床バイオメカニクス学会，姫路市，20231110，プログラム・抄録集，105，202311

2349192 久保田 雅史，橋本 直之，高田 勇，松尾 英明，長宗 高樹：脳卒中症例における仮想現実を用いたBox and Block Test動作軌跡の特徴，第50回日本臨床バイオメカニクス学会，姫路市，20231110，プログラム・抄録集，106，202311

2349193 松尾 英明，久保田 雅史，成瀬 廣亮，庄司 一希，長谷川 大輝，渡部 雄大，坂本 拓己，松峯 昭彦：末期変形性膝関節症患者における痛みの強さと歩行中膝関節バイオメカニクスの関係性，第50回日本臨床バイオメカニクス学会，姫路市，20231111，プログラム・抄録集，174，202311

2349194 谷 哲郎，野口 嵩正，北出 誠，松峯 昭彦：90歳以上の超高齢者に対する大腿骨頭部骨折後非手術症例のその後～手術療法と比較して～，第50回日本股関節学会学術集会，ハイブリッド開催（福岡市），20231027，プログラム・抄録集，233，202309

2349195 高橋 藍，渡邊 裕美子，水間 貴紀，田中 太晶，松峯 昭彦，磯崎 由宇子，井川 正道，加藤 創生，伊東 伸朗：小児脛骨偽関節に対するロモソズマブ使用経験，第25回日本骨粗鬆症学会，名古屋市，20230930，日本骨粗鬆症学会雑誌，9 (Suppl. 1)，454，20230908

2349196 高橋 藍，中嶋 秀明，松峯 昭彦：脂肪由来間葉系間質細胞移植とトレッドミルトレーニング併用による重度脊髄損傷治療，第60回 日本リハビリテーション医学会学術集会，福岡市，20230701，プログラム・抄録集，S164，202305

2349197 北出 誠，野口 嵩正，松峯 昭彦：大腿骨頭の破壊を認め感染との鑑別に難渋した症例の治療経験，第46回日本骨・関節感染症学会，津市，20230624，プログラム・抄録集，184，202305

2349198 東野 里沙，松尾 英明，成瀬 廣亮，庄司 一希，長谷川 大輝，久保田 雅史，坂本 拓己，松峯 昭彦：TKA術前後の大腿四頭筋とハムストリングスの最大筋力及び角速度率の変化，第11回日本運動器理学療法学会学術大会，福岡市，20231015

2349199 高山 マミ，野々山 忠芳，細川 康二：入院関連能力低下を呈する人工呼吸管理患者の特徴，第51回日本集中治療医学会学術集会，札幌市（オンデマンド），20240316

2349200 高山 マミ，野々山 忠芳，田辺 佐和香：急性大動脈解離術後患者における免荷機能付き歩行器の使用経験，第33回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会，仙台市，20231201

2349201 松尾 英明，成瀬 廣亮，亀井 絵理奈，高橋 藍，小林 久人，田中 太晶，松峯 昭彦：不全対麻痺と懸念された下肢運動障害の改善を認めた前立腺癌多発骨転移の一例，第11回日本がんリハビリテーション研究会，名古屋市，20230311

2349202 野々山 忠芳，高山 マミ，細川 康二，岸下 宏美，早瀬 美香，松峯 昭彦：重症高齢者における筋萎縮に関連する臨床的因子の検索，日本呼吸循環理学療法合同学会2023，東京都（ハイブリッド），20230902

2349203 野々山 忠芳，高山 マミ，久保田 雅史，細川 康二，松峯 昭彦：重症高齢者における年齢とICU退室時MRC sum scoreは退院時身体的フレイルを予測する，第50回日本集中治療医学会学術集会，京都市（ハイブリッド），20230303

2349204 野々山 忠芳，高山 マミ，細川 康二，松峯 昭彦：重症患者における大腿直筋超音波画像の輝度変化と筋萎縮、身体機能との関連，第51回日本集中治療医学会学術集会，札幌市（オンデマンド），202403

2349205 井上 大聖，渡邊 拓，松村 真裕美，坪川 操，久保田 雅史：脳卒中発症後早期の座位保持困難症例に対する部分免荷座位練習の即時的効果―座位分布及び体幹筋電図による評価，第21回日本電気生理運動学会，枚方市，20230312，抄録集，62，2023

2349206 渡邊 拓，井上 大聖，久保田 雅史，松尾 英明，山岸 永典，前田 康恵，松村 真裕美，佐藤 友理，小島 翔，井川 正道，坪川 操：手指の感覚障害を有する急性期脳梗塞症例2例における体性感覚誘発電位の経時的変化，第21回日本神経理学療法学会学術大会，横浜市，20230909，口演・プログラム集，132，2023

2349207 渡邊 拓，野々山 忠芳，早瀬 美香，蔵川 真紀子，松尾 英明，久保田 雅史，井上 大聖，松村 真裕美，佐藤 友理，榎本 崇一，濱野 忠則，坪川 操：筋炎患者における入院中の体重と栄養状態の推移：後ろ向きコホート研究，第9回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会，新潟市，20230917，口演・プログラム集，72，2023

2349208 井上 大聖，渡邊 拓，松尾 英明，佐藤 友理，松村 真裕美，坪川 操，久保田 雅史：急性期脳卒中患者の座位側方体重移動時の体幹筋活動の特徴と座位能力との関連：横断研究，第21回日本神経理学療法学会学術大会，横浜市，20230909，抄録集，141，2023

業績一覧

d. 一般講演（ポスター）

2349209

谷 哲郎, 野口 嵩正, 北出 誠, 松峯 昭彦: 前側方アプローチは体位により設置精度の違いはあるのか～仰臥位と側臥位での検討～, 第54回日本人工関節学会, 京都市, 20240224, プログラム・抄録集, 458, 202402

2349210

北出 誠, 谷 哲郎, 松峯 昭彦: 開発コンセプトからみたAnatomic Fit stemの15年生存率を含めた臨床成績, 第54回日本人工関節学会, 京都市, 20240224, プログラム・抄録集, 505, 202402

2349211

北出 誠, 小久保 安朗, 谷 哲郎, 松峯 昭彦: 大腿骨頭回転骨切り術後健常部占拠率からみた生存率の分析, 第50回日本股関節学会学術集会, ハイブリッド開催（福岡市）, 20231027, プログラム・抄録集, 554, 202309

2349212

高橋 藍, 窪田 有咲, 渡邊 修司, 中嶋 秀明, 松峯 昭彦: 脂肪由来間葉系間質細胞移植とトレッドミルトレーニング併用による重度脊髄損傷治療, 第38回日本整形外科学会基礎学術集会, つくば市, 20231020, 日整会誌, 97(8), S1940, 202308

2349213

高橋 藍, 中嶋 秀明, 松峯 昭彦: 胸髄損傷に対する脂肪由来間葉系間質細胞移植の髄腔内投与; 生体イメージング装置による細胞分布解析, 第38回日本整形外科学会基礎学術集会, つくば市, 20231020, 日整会誌, 97(8), S1939, 202308

2349214

小林 奈美子, 堀田 知佳, 坪川 操: 完全側臥位法により3食経口摂取を再獲得できた皮膚筋炎による重度嚥下障害症例, 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 横浜市, 20230903

2349215

高山 マミ, 野々山 忠芳, 岩崎 光恵, 乗川 美千子, 細川 康二: 腹膜内温熱療法後症例の精神面の経過-3症例のPICSラウンドを通じて-, 第50回日本集中治療医学会学術集会, 京都市（ハイブリッド）, 20230303

2349216

井上 大聖, 渡邊 拓, 松尾 英明, 松村 真裕美, 臼井 宏二郎, 眞田 采也加, 佐々木 宏仁, 坪川 操, 久保田 雅史: 自覚的視性垂直位の偏位を有する症例と有さない症例における重心動揺と下肢伸筋活動の違い-Body lateropulsionを呈した2症例, 第2回日本前庭理学療法研究会学術集会, 高崎市（ハイブリッド）, 20230611, 抄録集, 25, 2023

2349217

高山 マミ, 野々山 忠芳, 片岡 達宏, 田辺 佐和香: 心室中隔穿孔を合併したたこつぼ型心筋症症例に対する術前後の理学療法の経験, 日本呼吸循環理学療法合同学会2023, 東京都（ハイブリッド）, 20230902, 抄録集, 230, 2023

2349218

山岸 永典, 松尾 英明, 久保田 雅史, 中嶋 秀明: 頸椎疾患術後患者における術後早期の頸肩部の痛みの性質と退院時の変化 - マクギル疼痛質問票を用いた検討 -, 第57回日本作業療学会, 沖縄市（ハイブリッド）, 20231111, 日本作業療学会抄録集, 57, 718, 2023

(2349219)

井上 大聖, 渡邊 拓, 坪川 操, 久保田 雅史: 急性期脳卒中症例の座位機能と座圧分布及び体幹筋活動との関係, 第20回日本神経理学療法学会学術大会, 大阪市（ハイブリッド）, 20221015, 抄録集, 242, 2022

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

2349220

松尾英明: 当院における教育（研究）管理について～理想と現実～, 第11回北陸4大学病院リハビリテーション合同研修会, WEB開催, 20230218

c. 一般講演（口演）

2349221

野口 嵩正, 谷 哲郎, 北出 誠, 松峯 昭彦: THA後のCup破損、ポリエチレンライナーの摩耗を伴うChronic expanding hematomaに対する治療経験, 第141回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 神戸市, 20231007, 中部整災誌, 66(秋季学会号), 362, 202310

2349222

北出 誠, 谷 哲郎, 野口 崇正, 水間 貴紀, 松峯 昭彦: 超高齢者大腿骨頸部骨折の非手術療法の転帰, 第141回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 神戸市, 20231006, 中部整災誌, 66(秋季学会号), 202, 202310

2349223

神谷 実木子, 本定 和也, 北出 誠, 中嶋 秀明, 松峯 昭彦: 頸椎術後に発症したリウマチ性多発筋痛症の治療経験, 第141回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 神戸市, 20231006, 中部整災誌, 66(秋季学会号), 222, 202310

2349224

山田 翔太, 長宗 高樹, 松尾 英明, 久保田 雅史: 光学式動作解析装置を用いた身体前傾角の定量化, 令和5年度日本生体医工学会北陸支部大会, 福井市, 20231203

2349225

長谷川 大輝, 松尾 英明, 久保田 雅史, 成瀬 廣亮, 庄司 一希, 井上 大聖, 高橋 藍, 松峯 昭彦: 大腿骨近位部骨折症例の術前栄養状態と受傷前併存症との関連 ～modified frailty index-19を使用して～, 第39回東海北陸理学療法学術大会, 小松市（オンデマンド）, 20230930

2349226

白岩 東, 長宗 高樹, 久保田 雅史, 松尾 英明: VRへの没入度の違いによる指鼻試験における計測結果への影響, 令和5年度日本生体医工学会北陸支部大会, 福井市, 20231203

2349227

山岸 永典, 久保田 雅史, 大木 央: ソーベカバンジー法術後の長期経過を追った1症例-2軸電気角時計を用いた手関節動作解析による検討-, 第29回福井県リウマチケア研究会, 福井市（ハイブリッド）, 20230827

2349228

野々山 忠芳: 当院ICUにおける早期リハビリテーションと集中治療後症候群ラウンドの取り組み～理学療法士の立場から～, 日本集中治療医学会第7回東海北陸支部学術集会, 金沢市, 20230617

2349229

渡邊 拓, 井上 大聖, 松村 真裕美, 亀井 絵理奈, 松尾 英明, 久保田 雅史, 磯崎 誠, 坪川 操: 被殻出血により重度の体性感覚機能障害を呈した一例における末梢神経電気刺激介入前後の即時的変化の検討, 第27回福井県理学療法学術大会, ハイブリッド開催（福井市）, 20230521, 口演・プログラム集, 49, 2023

2349230

井上 大聖, 渡邊 拓, 松村 真裕美, 佐々木 宏仁, 坪川 操: めまいと平衡障害は早期に改善したが自覚的視性垂直位の偏位は残存したIsolated vertigoの1例, 第27回福井県理学療法学術大会, ハイブリッド開催（福井市）, 20230521, 抄録集, 43, 2023

2349231

北出 誠, 大木 央, 野口 崇正, 松峯 昭彦: 開発コンセプトからみたAnatomic Fit stem のX線成績の検討, 第140回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 奈良市, 20230408, 中部整災誌, 66(春季学会号), 236, 202303

d. 一般講演（ポスター）

2349232

松尾 英明, 久保田 雅史, 成瀬 廣亮, 庄司 一希, 長谷川 大輝, 渡部 雄大, 坂本 拓己, 松峯 昭彦: 痛みの破局的思考は末期変形性膝関節症患者の歩行パターンに影響を与えるか?, 第39回東海北陸理学療法学術大会, 小松市（オンデマンド）, 20230930

業績一覧

e. 一般講演

f. その他
2349233

野々山 忠芳：重症患者における神経筋電気刺激のエビデンスと実際，第39回東海北陸理学療法学会大会，小松市（オンデマンド），20231001

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

2349234

成瀬 廣亮，松尾 英明，長谷川 大輝，庄司 一希，高橋 藍，北出 誠，松峯 昭彦：骨折治療中に二次性骨折を受傷した関節リウマチ患者の理学療法を経験して，第29回福井県リウマチケア研究会，福井市，20230827，抄録集，1，202308

2349235

五十嵐 千秋，前田 康恵，庄司 一希，成瀬 廣亮，長谷川 大輝，松尾 英明，小久保 安朗：当院で人工股関節置換術を施行した女性患者における周術期の排尿機能障害調査，第4回ふくい排せつケア研究会，福井市，20230415

2349236

山岸 永典，久保田 雅史，大木 央：Sauvé-Kapandji法術後の長期経過を追った1症例-2軸電気角度計を用いた手関節動作解析による検討-，第29回福井県リウマチケア研究会，福井市（ハイブリッド），20230827，第29回福井県リウマチケア研究会抄録集，2023

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

2349237

前田 康恵：排尿障害に対する作業療法士としての活動，第2回 多職種連携排尿ケア検討会～横の繋がりの輪を上げよう～，WEB開催，20230701

f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	脂肪由来間質細胞による脊髄損傷治療-髄腔内投与後の組織分布と運動機能解析-	高橋 藍	中嶋 秀明, 渡邊 修司	20220401-20250331	¥910,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	脳卒中後の体性感覚機能障害に対する反復的体性感覚刺激効果の確立	渡邊 拓		20230401-20250331	¥2,730,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	難治性疼痛に対する中枢-末梢同時電気刺激の有効性のトランスレーショナルリサーチ	松尾 英明		20190401-20230331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	脳卒中後の体性感覚機能障害に対する反復的体性感覚刺激効果の確立	渡邊 拓		20230401-20250331	¥2,730,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	難治性疼痛に対する中枢-末梢同時電気刺激の有効性のトランスレーショナルリサーチ	松尾 英明		20190401-20230331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	脂肪由来間質細胞による脊髄損傷治療-髄腔内投与後の組織分布と運動機能解析-	高橋 藍	中嶋 秀明, 渡邊 修司	20220401-20250331	¥910,000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
共同研究	Waseda University (学校法人早稲田大学), University of Birmingham (バーミンガム大学)	A cross-cultural examination of the two-way mental state attribution in adults with and	小坂 浩隆, 成瀬 廣 亮	20220701-20231231	¥0
共同研究	株式会社ハカレル	LRRC15陽性エクソソーム定量測定法の確立とその臨床的有用性の検討	松峯 昭彦, 田中 太 晶, 渡邊 裕美子, 出 淵 雄哉, 小林 健寿	20200902-20260331	¥0

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
----	-----	-----	------	------	------

(B) 奨学寄附金

受入件数	1
受入金額	¥30,000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本リハビリテーション医学会	代議員	坪川 操
福井リウマチ研究会	世話人	北出 誠
日本リハビリテーション学会	男女共同参画委員会委員	山口 朋子

(C) 座長

業績一覧

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
招待・特別講演等 シンポジウム等	第4回骨粗鬆症セミ 第60回日本リハビリ テーション医学会学術 集会	高橋 藍 山口 朋子
一般講演 (ポスター)	第7回日本リハビリ テーション医学会秋季 学術集会	高橋 藍
招待・特別講演等 一般講演 (ポスター)	第4回骨粗鬆症セミ 第7回日本リハビリ テーション医学会秋季 学術集会	高橋 藍 高橋 藍
一般講演 (口演)	第11回日本運動器理学 療法学会学術大会	松尾 英明

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長 (主査)・委員 の別	氏名	査読編数
運動器理学療法学	査読		松尾 英明	1
日本がん・リンパ浮腫 理学療法学会誌	査読		北出 一平	2
Cureus Journal of Medicine Science	査読		北出 一平	5
Physical Therapy Research	査読		北出 一平	2
Clinical Case	査読		北出 一平	1
Cureus Journal of Medicine Science	査読		野々山 忠芳	2
理学療法福井	査読		野々山 忠芳	1
物理療法学科学	査読		松尾 英明	1
理学療法学	査読		松尾 英明	2
運動器理学療法学	査読		松尾 英明	1
理学療法福井	査読		松尾 英明	1
物理療法学科学	査読		松尾 英明	1
理学療法学	査読		北出 一平	1
理学療法学	査読		松尾 英明	2
国立大学リハビリテ ーション	査読		松尾 英明	1
Physiotherapy Theory and Practice	査読		松尾 英明	1
Physiotherapy Theory and Practice	査読		松尾 英明	1

(E) その他

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関の名称等	委員会の名称等・役割	氏名	期間
----	--------	------------	----	----

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
----	----------	----------	----

(B) 国際貢献

国際協力事業

活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名
----------	----	--------	----	----	------

(C) その他業績

(D) 特記事項